



80 日鉄鉦業所 二濱鉦業所 福野炭鉦 福岡 二〇〇

81 // 中央炭鉦 // 二九六

82 鹿町鉦業所 長崎 一九七

83 同和鉦業所 花岡鉦業所 秋田 二九八

84 // 沈強 主編 // 二〇〇

85 古河鉦業所 足尾鉦業所 栃木 二三七



中國人民抗日戰爭紀念館藏 日本強擄中國赴日勞工檔案彙編

50

92 三菱鉦業所 美唄鉦業所 北海道 二八九 二八九 六一〇

93 // 大夕張鉦業所 // 二九二 二九二 六一七

94 // 尾去沢鉦業所 // 四九八 四九八 六一五

95 // 勝田鉦業所 福岡 三三二 三三二

96 // 飯塚鉦業所 // 一八九 一八九 六一七

97 // 高島鉦業所 端島坑 長崎 二〇四 二〇四 六一二

國家圖書館出版社



中國人民抗日戰爭紀念館

國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FUND PROJECT

沈強 主編

中國人民抗日戰爭紀念館藏
日本強擄中國赴日勞工檔案彙編

50

國家圖書館出版社

圖書在版編目(CIP)數據

中國人民抗日戰爭紀念館藏日本強擄中國赴日勞工檔案彙編(全六十冊)/沈強主編.
—北京:國家圖書館出版社,2014.9

ISBN 978-7-5013-5439-9

I. ①中… II. ①沈… III. ①日本-侵華事件-華工-史料-彙編
IV. ①K265.606

中國版本圖書館 CIP 數據核字(2014)第 176658 號

書名 中國人民抗日戰爭紀念館藏日本強擄中國赴日勞工檔案彙編(全六十冊)
著者 沈強 主編
責任編輯 王曉 廖生訓

出版 國家圖書館出版社(100034 北京市西城區文津街7號)
(原書目文獻出版社 北京圖書館出版社)
發行 010-66114536 66126153 66121313 66175620
66171706(傳真) 66126156(門市部)

E-mail btsfxb@nlc.gov.cn(郵購)

Website www.nlcpress.com→投稿中心

經銷 新華書店
印裝 河北三河弘翰印務有限公司
版次 2014年9月第1版 2014年9月第1次印刷

開本 889×1194(毫米) 1/16
印張 1953
字數 22500千字

書號 ISBN 978-7-5013-5439-9
定價 36000.00圓

第五十冊

編號一二三

(山形) 日本港運業會酒田華工管理事務所

華人勞務者就勞始末報告書

附表

附書

編號一二四

(東京) 日本港運業會東京華工管理事務所

附表

附書

一
三
一六七
二五五
三六三
三六五
四〇九

東北

山形

日本港運業会

酒田華工管理事務所

No. 123

業種 港運

附表	名稱	附表	名稱
○ No 1	事業場概要	○ 13	不法行為統計
○ 2	関係者名簿	○ 14	不法行為調書
○ 3	配置人員表	15	終戦後に於ける 紛争事件調書
○ 4	個人別就労経過調査表	16	契約履行状況
5	被服支給状況	17	給喫事故調書
6	食糧支給量	○ 18	対華労不法行為調書
7	疾病統計	19	就労の具体的成果
8	傷害統計	20	終戦後に於ける紛争により 被れる事業場の損害調書
○ 9	死亡者調書	○ 21	死亡診断書、揚子紀事、領收證。
10	不具瘳疾者調書	22	
11	公傷病者調書	○	華人勞務者就労願未報告書。
12	諸給喫調書		契約書

落 No123

通運
田

NHK **NIPPON HOSO KYOKAI**
[JAPAN BROADCASTING CORPORATION]

JINNAN, SHIBUYA-KU, TOKYO, JAPAN
〒150-01 日本放送協会 TEL.東京(03)3465局1111(代)

昭和二十一年三月

華人勞務者ニ關スル報告書

日本港運業會

酒田華工事務所

(五)

華人勞務者就勞報告願末書

一、事業場及關係者

一、概況 戰時中當地ニ於ケル港灣荷役作業ハ勞務力不足ヲ告ゲタレ爲

メ其ノ補充策トシテ酒田港灣運送株式會社、報告ニ依リ日本港運業會ハ華北勞工協會ト契約シ華勞ヲ移入セルモノニシテ原地ヨリ協力隊ヲ組織シ來リ總隊長統率、下ニ隊員一致協力シ荷役作業ニ從事ス

二、事業場概要 事業場ハ華勞ヲ保護監理スル華工事務所ト實際作業ヲ行

フ酒田港灣會社、職場、二者ニ分ツ。(附表一)

移入當初ヨリ、(終戰後)十月十二日迄、宿舍ハ山形縣酒田市新町六十一番地酒田華工管理事務所職場ハ近隣、酒田港灣運送株式會社、

事業タル港湾荷役作業場ナリ。然レドモ終戦後山形縣神町駐屯軍ウ
オルシート少佐米酒奉工生活状況調査、勸業舎機陞ナリ、ナリ宿舎移轉
ヲ命セラレ早速酒田市長酒田警察署長、幹族、旅、市外愛海欄西貴
頼村大字豊里字下西割三十七番地酒田日滿工業學校宿舎。(十月十
三日)移轉セリ

三、華勞關係者

(1) 關係者、態度 事務所職員並ニ職場關係者一同華人米酒ノ目的ガ荷
役作業ニ協力、為ノナレハ當然好意、以テ過ルニ或時這何等事故及
生、見ズ

鳴北醫鈴木安吉氏、晝夜降雨雪ヲ厭ハズ往診ナリ其ノ熱意、歸還時
達華勞ノ感謝ノ的トナレ

華勞保護ノ爲メ駐在セル酒田警察署員モ華勞ト親シク交リテ華勞ヨリ反感ヲ受ケタル様子ナシ

終戦後ニ於ケル華勞ノ暴行募リ其ノ鎮撫解決ニ努力サレタル誠意ハ、歸還時華勞幹部ガ陳謝ノ辞ヲ述ベ歸還シタルニ依リテモ明ナリ

(2) 関係者配置状況

(事務所) 所長 一名 全般事項ノ統率及外部トノ折衝

庶務科 一名 一般庶務事項

厚生科 二名 華人ノ福利厚生ニ関スル事項

會計科 一名 華人賃金計算並ニ金錢出納ニ関スル事項

指導科 二名 指導科長統率ノモト華勞ノ保健ヲ留意ス

萬般ノ世話ヲ爲ス

本部派遣指導員 一名 支那語ヲ解シ常時華勞ト共ニ在リ

ニ相談相手トナリ事務所内ノ疎通ヲ計ルヲ任務トス

囑託醫

一名

内科

(外科 眼科 齒科 耳鼻科 發病者アリ)

警察官

四名

主トシテ外部ニ對スル華勞ノ保護監督指導

雜役夫

一名

華人所要物資運搬並ニ華勞ノ外部ニ對スル

雜務

(職場)

港灣會社々長

一名

作業課長

一名

荷役所要人員ノ手配並ニ作業ノ命令

現場指導主任

一名

現場ニ於ケル華勞指導主任者

現場指導員

七名

華勞ヲ現場ニ誘導シ作業監督指導ニ

(3)

四者ノ關係ハ彼我共ニ理解シ何レノ場合ニ於テモ當事者ニ直接
行ハズ總テ隊長ヲ通ジテ行ヒタルモノナリ。

終戦後、於テ華勞ノ思想動向日ニ悪化シ各處ニ於テ不法行為等惹起

セ七時所員警察官ハ其ノ鎮撫釋明ニ努力セシム事多クナリ。

(4)

移入及送還時ニ於ケル華勞ノ世話ヲ爲ス可キ所員等ハ充分ニ考ヘテ
レバ途中ニ於ケル何等事故ノ發生セムコトヲ聞カズ。(附表三)

二、移入、配置及送還事項

一、概況

十二月十七日下関ヨリ酒田ニ移送、途中新津附近ニ於テ第一

隊來車ノ一華勞突然危篤ニ陥入りタル旨同乗セシ隊長ヨリ附添人ハ

所員ニ報告アリ急遽駐付タル時既ニ死亡シ居レリ。酒田降着ト

同時ニ醫師鈴木安吉氏、診断ヲ受ケ葬儀ヲ執行シ火葬ニ附ス

四訓八直接

華勞ニ

送還時及送還教日前ニ華労六名逃亡原因不明進駐軍管轄署協力捜査
セシモ歸還時間ニ間ニ合ハズ殘留

送還途中姪路駅及尾道駅ニ於テ同列車ノ朝鮮人ト取辨當ノ事ニテ小
競合アリタルモ附添所員ノ盡力ニ依リ幸ナキヲ得タリ。(附表三・四)

二、移入狀況

(一) 概 要 日本送還業會本部ト華北勞工協會トノ契約ニ基キテ移入

(二) 募集狀況 本門司ニ於テ受領セシモノナレバ一切不明

(三) 應答者未實

(1) 年令 最高五十七歳 最低十四歳 平均二十八歳弱

(2) 主ナル出身地 河北省最モ多ク山西省河南省之ニ次グ

(3) 家族 獨身者 九名 有家族 一九〇名 (東京ヨリノ轉入ハ不明)

(14) 職業 農業六〇パーセント、苦力二〇パーセント、商人其、他 二〇パーセント

(15) 体格 長途疲勞ノ為メ概シテ不良ナリ

(16) 前歴 契約移入者勝者ナレバ不明

(17) 學歷 中學校卒三名、小學校程度四〇名、他ハ殆ブ初等學

通譯二名以外ハ殆ブ下日語ヲ學ビ不^科

(18) 應募者、給與訓練 一切不明

(19) 輸送狀況 一切不明

(20) 上陸地受入狀況

(21) 受入施設 昭和十九年十二月十四日東條總走ヨリ所^{司港着}受入シ五日為

島檢疫所ニ於テ身體衣服持物一切消毒

當日夜下問驛敷ニ確定シ、其ノ間下問市^{下問市佛教會館敬講堂ニテ}中夜會館講堂ニ於テ休息

想入

(2) 受入状況 原地ニ於テ日本港運業會本部ヨリ支給セラル毛布蒲團ヲ

各自携行

検査所ニ於テ約一合五勺入ノ辨當ヲ給シ上陸後佛羅會館ニ於テ同
量ノ辨當ヲ給ス

下ノ開港検査署及水上警察官ハ検査時ヨリ下所驛出發時迄終始始終、勞
ヲ給ラル

(3) 上陸地ニ於テハ何等問題ナク無事受渡セリ

(4) 事業場迄ノ搬送状況 酒田向テ華勞二〇〇名ハ附添、為、出張セ

ル所員五名ト警察官二名ニ伴ハレ二輛ノ客車ニ乗リ、
客車ニ乗リ、
分乘
本年三月十五日

日下所驛ニ出發途中陸處ニ於テ驛辨當ヲ支給セリ

一隊八十八日午前一時一隊八午前十一時酒田驛に到着ス

酒田驛着ノ華勞ハ隊長ヲ先頭ニバスリヨ利用船全員定員計八十八

三、配置狀況

(一) 概要 移入ノ使命ガ港湾作業(荷役)ノミナレバ港湾ノ近クニ建築

セル宿舍ニ收容萬事總隊長統率ノ下ニ行動ヲトル組織トシ隊長ノ命

令ニ依リ宿舍内ノ割當ヲ行ヒ各班毎ニ集合就寢セシム

十二月十八日移入セル一九九名ト邦人勞務者ヲ以テ作業ヲ爲シタル

モ斷次船舶轉送シ來リ勞務力ノ不足ヲ告ゲタルニ依リ日本港運業會

本部ノ指令ニ依リテ東京華工事務所ノ余剩華勞一三八名ヲ昭和二十

年五月中ニ轉入セリ

(二) 事業場受入狀況